

令和7年度 茨城県立水海道第一高等学校卒業式 学校長式辞

卒業おめでとう。

この3年間は どうでしたか？

きみたちの存在はある種の社会実験の結果かもしれません。

きみたちは普通の校長先生を知ることなく、

僕のような変な校長と高校3年間で過ごした唯一の学年ということになります。

これから大学に社会に出ると、案外、僕のような人間のほうが普通で、

学校の先生というのはひどく優しく面倒見のいいまじめな人たちだったと気づくでしょう。

なので、まず担任や教科の先生に感謝してください。

そして、この先は僕のような変人を相手にがんばってください。

3年前の入学式で僕が初めて式辞を読んだとき、そのテーマは当時世に出たばかりのChatGPTについてでした。それから3年できみたちはチャッピーなんて呼んですでに仲良くしていることと思います。きみたちが社会に出るころにはAIが当たり前になっていることでしょう。

思い起こせば、僕が高校を卒業したのは1991年ですが、その4年後にWindows95という誰でも使いやすいOSが現れて、そこからインターネットの巨大な波がやってきました。

1995年は僕が大学4年の時です。翌年に会社に入りますが、同じ時期に東大の1年先輩の堀江貴文さん、ホリエモンが東大を中退してオンザエッジという会社を立ち上げています。

インターネットをAIに置き換えるといまなんとなく同じような空気感がしないでしょうか？きみたちはいまとても面白く、そしてとても危うい、これまでの価値観がひっくり返るような瞬間を生きているんです。

僕が会社に入って2年目には、どうやらアメリカではインターネットで買い物ができるらしいからお前調べに行っってこい、とアメリカに出張させられました。Amazonが生まれて間もない頃です。その数か月後には元日本興業銀行の三木谷さんという人が電通にやってきて楽天市場という新しいビジネスのプレゼンをするのを聞きました。

これからきみたちはあの時の僕と同じようにこの激動の時代に巻き込まれていきます。

いまこんな話を聞いて、怖いでしょうか？まず大事なのはこの渦をおそれないことです。

どんどん飛び込んでワクワクして欲しいと思っています。そして、できるだけ渦の中心に

近いところにいることです。AIのエンジニアになれという意味ではありません。どの業界にいてもAIを使うことになるし、それを使って新しい価値を生み出す最前線にいて欲しいと思っています。

そして、入学した時からきみたちがこんな時代を生きることになるとわかっていたから、僕はきみたちに探究やいろんな場面を通じて、たくさんのチャレンジの機会を提供してきたつもりです。大学に行ったらわかると思いますが、水海道一高の卒業生は、他の高校の卒業生よりもだいぶたくましいはずですよ。

そして、チャンスと見るや、すぐに動ける反射神経を持っているはずでず。さらに言えば、人を楽しませること、面白いこと、クリエイティブなことへの興味を高く持っているはずでず。それならば、AI 時代にもたくましく生きていけると思ひます。

ちよつと上を見上げてみてください。

6月の亀陵祭の閉会式のことを思い出してください。

この体育館の天井付近にたくさんのLEDのランタンが浮かんでいましたよね。

あんな光景見たことも想像したこともありませんでした。

僕は高校生のポテンシャルは計り知れないなーと感動しながら、同時に感心しました。

きみたちはものすごいポテンシャルとそして行動力をすでに持っています。

どこに出しても間違ひがない、どんな時代にも負けない自慢の生徒たちです。

きみたちの力で、この世の中を面白くしてください！